

科目	世界史探究	学年	第3学年	開講	通年	必修	4	単位
----	-------	----	------	----	----	----	---	----

教科書： 山川出版社「詳説世界史」  
 副教材： 山川出版社「詳説世界史ノート」「詳説世界史図録 第5版」

1 学習の到達目標

世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる一員としての自覚と資質を養う。

2 学習計画及び評価方法

- a 知識・技能 定期考査、課題等
- b 思考・判断・表現 定期考査、課題等
- c 主体的に学習に取り組む態度 平素の授業態度、提出物、発表等

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考査	評価の観点			
							a	b	c	
前期	第I部	文明の成立と古代文明の特質	文明の誕生	西アジア世界の地理的特質を把握し、オリエント文明の隆衰、イラシンの活動を理解する。地中海一帯の地理的特質を把握し、ヨーロッパ文明の形成とメソポタミア文明の特質を把握する。東洋諸国から大帝国に発展したローマ文明の特質を理解する。インド文明の歴史をたどる。インド文明の成立と発展について理解する。	4		○	○	○	
			古代オリエント文明とその周辺			○	○	○		
			南アジアの古代文明			○	○	○		
		中央ユーラシアと東アジア世界	中国の古代文明			○	○	○		
			南北アメリカ文明			○	○	○		
			中央ユーラシア			○	○	○		
		南アジア世界と東アジア世界の展開	秦・漢帝国	中央ユーラシアの風土とその特性とともに、遊牧民が与えた影響を理解する。秦・漢における政治体制とともに地域間の結びつきについて理解する。三國時代から始まるその後の動乱や分裂の時代を理解する。隋・唐における東アジア文化圏の成立を理解する。	5			○	○	○
			中国の動乱と変容			○	○	○		
			東アジア文化圏の形成			○	○	○		
	第II部	イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	仏教の成立と南アジアの統一国家	仏教の成立から発展に至るまでの過程や社会的影響とともに、南アジアにおける統一国家の成立過程を理解する。インド古典文化について、その特性を形成過程とともに理解する。			○	○	○	
			インド古典文化とヒンドゥー教の定着			○	○	○		
			東南アジア世界の形成と展開			○	○	○		
		イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	アケメネス朝がどのようにオリエント統一を実現したのかを理解する。その後の王朝の移り変わりの中で、イスラーム教がどのように引き継がれていったのかを理解する。オリエントにおける都市国家の形成と民主政を導く社会形成について理解する。ローマ帝国の成立と地中海世界の統一を理解する。ローマ帝国分裂後の動向について理解する。			○	○	○	
			イスラーム教の諸地域への伝播			○	○	○		
			西アジアの動向			○	○	○		
		ヨーロッパ世界の変容と展開	西ヨーロッパの封建社会とその展開	地中海世界解体後、ヨーロッパ世界が東西に分かれ、ゲルマン人移動後の西ヨーロッパでは、外部勢力との対抗の中で封建社会が形成されたことを理解する。ビザンツ帝国の繁栄とその社会や文化。スラブ人と周辺諸民族の自立の過程を理解する。十字軍以降の西ヨーロッパ中世世界の変容と諸国の動向を理解する。			○	○	○	
			東ヨーロッパ世界の展開			○	○	○		
			西ヨーロッパ世界の発展			○	○	○		
東アジア世界の展開とモンゴル帝国	アジア諸地域の自立化と宋	内陸アジア世界におけるトルコ人の活動とイスラーム化の進展を理解する。日本を含めた東アジア諸地域の勢力変遷、宋の興亡と社会や文化の特色を理解する。モンゴル帝国の興亡とその活動が日本を含む諸地域世界に与えた影響の大きさを理解する。	6			○	○	○		
	モンゴルの大帝国			○	○	○				
	アジア交易世界の興隆			○	○	○				
アジアの諸帝国の繁栄	ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容			○	○	○				
	オスマン帝国とサファヴィー朝	帝国を再興した明朝の動向とともに、朝鮮や日本など東アジア世界の状況を理解する。清朝の形成した広大な領域支配とその社会や文化を理解する。トルコ・イラン世界に誕生したイスラーム帝国を理解する。南アジアに誕生したムガル帝国を理解する。	中間			○	○	○		
	ムガル帝国の興隆			○	○	○				
近世ヨーロッパ世界の動向	清代の中国と隣接諸地域			○	○	○				
	ルネサンス			○	○	○				
	宗教改革			○	○	○				
産業革命と環大西洋革命	主権国家体制の成立	ヨーロッパ世界の拡大とアメリカ大陸の征服、それに伴うヨーロッパ社会の変革の動きを理解する。ルネサンスのもたらした芸術・思想・科学を理解する。ドイツが始めた宗教改革を理解する。近代国家の原型となった主権国家体制の特色と体制の形成に向かうヨーロッパ諸国の内乱や戦争の動向を理解する。	7			○	○	○		
	オランダ・イギリス・フランスの台頭			○	○	○				
	北欧・東欧の動向			○	○	○				
イギリスの優位と欧米国民国家の形成	科学革命と啓蒙思想			○	○	○				
	産業革命			○	○	○				
	アメリカ合衆国の独立と発展	イギリス産業革命の背景と展開。産業資本主義体制の確立とその影響を理解する。アメリカ独立革命の経緯と独立が近代民主政治に与えた影響を理解する。アメリカ独立革命とフランス革命が近代民主政治に与えた影響を理解する。	9			○	○	○		
第III部	産業革命と環大西洋革命	フランス革命とナポレオンの支配				○	○	○		
		中南米諸国の独立			○	○	○			
		ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動			○	○	○			
第IV部	冷戦の展開	列強体制の動揺とヨーロッパの再編成	ウィーン体制の成立とその体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動を理解する。ラテンアメリカの独立、アメリカ合衆国の拡張と冷戦以後の発展を理解する。19世紀の欧米文化の特色とその成立の背景を理解する。			○	○	○		
		アメリカ合衆国の発展			○	○	○			
		19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄			○	○	○			
前期 授業評価										
後期	アジア諸地域の動向	アジア地域の動向	西アジアにおけるオスマン帝国支配の動向と改革、アラブ諸民族の東進、イラン・アフガニスタンの動向を理解する。インドの植民地化とその社会の発展、東南アジア諸国の植民地化の過程を理解する。ヨーロッパ諸国の干渉による清朝の動向と近代化改革、日本の開国と台頭による東アジア国際秩序の再編を理解する。	10			○	○	○	
		東アジアの激動			○	○	○			
		第2次産業革命と帝国主義			○	○	○			
	帝国主義とアジアの民族運動	列強の世界分割と列強体制の二分化	帝国主義の特質と帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化を理解する。世界各地の分断や植民地化をめぐる競争と、従属させられた地域社会の反抗と変容を理解する。			○	○	○		
		アジア諸国の変革と民族運動			○	○	○			
		第一次世界大戦とロシア革命			○	○	○			
	第一次世界大戦と世界の動向	ヴェルサイユ体制下の欧米諸国	第一次大戦とロシア革命が国際秩序に大きな変化をもたらした。20世紀の激動の基盤となったことを理解する。国際協力を基盤としたヴェルサイユ体制の欧米諸国の動向を理解する。世界恐慌以降の欧米諸国の動向や東アジアの状況から、国際的な緊張が高まる時代を理解する。第二次世界大戦に至る過程と戦争規模の拡大の国際的地位の高まりを理解する。	11			○	○	○	
		アジア・アフリカ地域の民族運動			○	○	○			
		世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊			○	○	○			
	第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	第二次世界大戦			○	○	○			
		新しい国際秩序の形成			○	○	○			
		冷戦の展開			○	○	○			
冷戦と第三世界の台頭	冷戦の展開	第二次世界大戦後、米・ソを中心とした冷戦体制が成立し、東西陣営に世界が分裂したこと、朝鮮戦争などによる米ソ冷戦の激化を理解する。戦後の20年間にわたる独逸の統一と冷戦体制の崩壊を基盤とした冷戦体制の動向を理解する。世界恐慌以降の欧米諸国の動向や東アジアの状況から、国際的な緊張が高まる時代を理解する。第二次世界大戦に至る過程と戦争規模の拡大の国際的地位の高まりを理解する。	12	学年末		○	○	○		
	第三世界の台頭とキューバ危機			○	○	○				
	冷戦体制の動揺			○	○	○				
冷戦の終結と今日の世界	産業構造の変容	東欧社会主義圏の崩壊とソ連邦の解体、1990年代の情報技術革命とグローバル経済の進展を理解する。途上国の民主化の進展とアジア社会主義国家の変容を理解する。世界で多発する地域紛争と国際安全保障の動き、紛争解決や軍縮の動きを理解する。科学技術の発達と現代文明の抱える危機、現代思想や文化の特質を理解する。	1			○	○	○		
	冷戦の終結			○	○	○				
	今日の世界			○	○	○				
後期 授業評価										

3 評価の観点

各観点100点満点で算出する。  
 ○知識・技能 : 考査素点 70%+課題等 30%  
 ○思考・判断・表現 : 考査素点 60%+課題等 40%  
 ○主体的に学習に取り組む態度: 平素の授業態度、提出物、発表等…100%